

各グループの取組と課題

3) 楽遊クラブ銀雅

代表：伊藤 裕

私達のクラブは、神戸市シルバーカレッジのクラブ活動として平成12年4月に楽遊クラブとして発足しました。卒業後も銭太鼓が大好きな者が集まって「楽遊クラブ銀雅」として「明るく、楽しく、元気よく銭太鼓」をモットーに活動しています。月4回の練習で技の向上・会員相互の交流を図ると共に高齢者施設・地域の食事会等でのボランティア活動や神戸まつり等のイベントに年80回程度参加して、皆様に元気をお届けすると共に私達も元気を貰っています。また銭太鼓をお見せするだけでなく民俗伝統芸能である銭太鼓を知って頂くために、実際に銭太鼓を手を持って体験して頂く活動にも力を入れています。年一回他地域の銭太鼓グループと交流を図るため「楽遊クラブ銭太鼓交流会」をシルバーカレッジ大ホールで開催しています。



4) KSC男声合唱団

団長：岡本史郎

みなさんこんにちは、KSC男声合唱団です。

平成12年2月に、わずか7名で誕生、今では団員60名を超えるまでに成長いたしました。これもひとえに、先輩方のご努力とみなさま方の温かいご支援の賜物と感謝しております。

私たちKSC男声合唱団は、シルバーカレッジの理念であります、「再び 学んで 他のために」をモットーにボラ



ンティア活動を主体として活動しています。

定例練習は、毎週木曜日13時から16時30分 ひよどり台会館及びたんぼぼの家多目的ホールにて、行っています。8月には合宿を実施しています。2020年3月28日(土)、神戸文化ホール・大ホールにて第7回演奏会を行います。

5) 大正琴プリムラ

代表：徳山忠子

大正琴プリムラと申します。

文化部に入部して、15年が過ぎ年月の流れを愛しく感じます。当初は年7回ぐらいのボランティアでしたが、ここ数年は年20回以上ほとんど介護施設に訪問です。月2回の例会に無理のない訪問をと部員が弾ける曲を選び意見を述べ合い、私たちの体調にも気遣いながら参



加しております。持参曲は、懐かしい数十年前の歌詞の意味が解る曲がほとんどですが、施設の方から涙しながら大層喜んで貰うこともあり、沢山の元気を頂いて帰ります。訪問先の要望にも応えられるように努力していきたいです。楽器は地味な印象ですが、とても使いやすくボケ防止にも役立つかな・・・と大切にしています。一度楽器に触れてみませんか・・・

6) KSC民謡クラブ

代表：小野利貞

私たちKSC民謡クラブは、平成14年の結成以来、日本人の心のふるさとである各地の民謡を訪ねて、大きな声で合唱することを通じて、心身のリフレッシュと交流をモットーに活動を続けてきました。

又、月3回の練習の合間には、市内各所の高齢者介護施設をほぼ月1回のペースで訪問し、民謡の良さをPRし、共



に歌うなどの活動も行ってきました。

ただ、近年、民謡を愛好する人が少なくなっているのか、クラブへの新しい参加者が減ってお

り、このことに伴って、メンバーの高齢化が顕著になってきていることが、大きな悩みです。

当然、ボランティア活動における伴奏者や各施設への交通手段の確保なども年々、難しくなっており、今後、ボランティア活動の見直しをせざるを得なくなるのではないかと懸念しております。